



2022年11月9日

各位

会社名 株式会社ウィルグループ
代表者名 代表取締役社長 大原 茂
(コード番号: 6089 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員 高山 智史
管理本部長
(TEL. 03-6859-8880)

2023年3月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2022年5月11日に公表いたしました2023年3月期第2四半期累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)の連結業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異

	売上収益	営業利益	税引前利益	四半期利益	親会社の所有者に帰属する四半期利益	基本的1株当たり四半期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	67,000	2,250	2,190	1,575	1,250	55.93
実績数値 (B)	72,358	2,934	2,947	1,989	1,743	77.23
増減額 (B-A)	+5,358	+684	+757	+414	+493	
増減率 (%)	+8.0%	+30.4%	+34.6%	+26.3%	+39.5%	
(参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	63,913	2,685	2,716	1,996	1,698	76.18

2. 差異の理由

売上収益につきましては、国内では、行動制限の緩和とともに回復基調にありましたが、2022年7月から9月にかけて新型コロナウイルス感染症が再拡大したことで、再び顧客の採用活動が抑制され、新規案件の獲得が遅れたことに加え、派遣スタッフの欠勤が相次いだこともあり、伸び悩む結果となりました。一方、海外では、前期と比較して人材需要は落ち着く見通しとしていましたが、オーストラリア、シンガポールとも求人件数が、過去最高水準で推移したことから、人材紹介、人材派遣とも堅調に推移しました。加えて、為替相場が業績予想に対し、シンガポールドル、オーストラリアドルとも円安で進行したことで、プラスの為替影響が生じました。

営業利益につきましては、人材紹介売上が増加し、売上総利益が伸長したことに加え、販管費及び一般管理費の一部を第3四半期以降に繰越したため、業績予想を上回りました。

税引前利益、四半期利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益につきましては、営業利益が業績予想を上回ったことによって、業績予想を上回りました。

2023年3月期通期連結業績予想につきましては、第2四半期累計業績が業績予想に対し上振れしているものの、第3四半期以降が以下の見通しであることから、既に公表している業績予想に変更はありません。

□売上収益

- ・国内 WORK 事業は、業績予想のシナリオでは第3四半期以降拡大を見込んでいましたが、7月から9月の感染症再拡大によって、新規案件獲得が遅れ、稼働スタッフ数を積み上げできなかったことにより、業績予想を下回る見通しです。
- ・海外 WORK 事業については、第3四半期以降も人材需要は堅調に推移する見通しであることに加え、プラスの為替影響により業績予想を上回る見通しです。

□営業利益

- ・国内 WORK 事業は、売上収益の減少に加え、戦略投資領域における先行投資予算を第3四半期以降に繰越（約200百万円）していることから、業績予想を下回る見通しです。
- ・海外 WORK 事業は、為替影響を含め業績予想を上回る見通しです。

(注) 業績予想につきましては、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上